

(4) 一日の流れ (晴天時)

時 間	★ 保 育 者 の 援 助 と 留 意 点	
9 : 0 5	☆ 登園する。 ☆ 登園時の活動をする。 - シールをはる。 - 連絡帳を出す。 - タオルを出す。 - ランドセルや帽子をロッカーにしまう。 - コートを掛ける。 ☆ 好きな遊びをする。 - 体を動かして遊ぶ。 - 自然と触れ合う。 - 砂や土、水を使って遊ぶ。 - つくって遊ぶ。 - ごっこ遊びをする。 - 大型積み木やブロックで遊ぶ。など	【登園する 登園時の活動をする】 ★ 一人一人の子どもたちと笑顔であいさつを交わしたり、楽しく会話したり、スキンシップを図ったりしながら、咳や鼻水は出ていないか、顔色はどうかなど、今朝の子どもたちの健康状態を把握する。 ★ 友だちに進んであいさつをする姿を認め、友だちとあいさつを交わしたうれしい気持ちを大切にし、楽しく一日が始まるようにしたい。 ★ 登園時の活動を自分でしようとする子どもたちを十分に認めながら、周りにいる子どもたちも自分でやってみようとする気持ちがもてるように言葉掛けをする。 【大型積み木やブロックで遊ぶ】 ☆ 友だちと協力しながら、家や基地、飛行機などをつくる。 ☆ 積み木やブロックでつくったものを使って、ごっこ遊びをする。 ★ 友だちと一緒にイメージを共有しながらつくっている姿を認め、必要に応じて保育者も仲間に入って遊ぶようにしたい。 ★ 積み木を積み高さなど、自分たちで安全面に気を付けることができるように言葉掛けをする。 ★ 積み木やブロックの取り扱いなどで言い合っているときには、両方の話をゆっくりと聞きながら、どうすれば楽しく遊べるかを一緒に考えていくようにする。 【ごっこ遊びをする】 ☆ 友だちと役割を話し合いながらお店屋さんごっこや家族ごっこなどをする。 ☆ 自分でつくったものを使ってヒーローになりきって遊ぶ。 ☆ 友だちと楽器を使ったり衣装を着たりしてコンサートごっこをする。 ★ 子どもたちがイメージに合わせてじっくりとごっこ遊びができるように、必要な材料や道具を用意しておく。 ★ 子どもたちが友だちとイメージを出し合いながら遊ぶ姿を認める言葉掛けをする。 ★ コンサートごっこでは、自分たちで場を整えたり、発表したりする姿を認める言葉掛けをする。 【砂や土、水を使って遊ぶ】 ☆ つくったごちそうを使ってレストランごっこをする。 ☆ 友だちと一緒に砂場に山をつくったり、穴を掘って水を溜めたりして遊ぶ。 ★ つくったものを使ってレストランごっこなどをする際に、看板や机など子どもたちが必要としているものを聞きながら一緒に準備したり、客となったりして一緒に遊びを楽しみたい。 ★ 砂場で使う道具を貸し借りする姿を認めながら、友だちと一緒に遊ぶ楽しさを味わえるような言葉掛けをしたい。 【自然と触れ合う】 ☆ 吐く息の白さや手の冷たさや日だまりの暖かさを感じ、友だちや先生に伝える。 ☆ 自分たちが育てているチューリップやカブの成長に気付く、水を掛けるなどの世話をする。 ☆ ウサギやニワトリなどを見たり、えさをあげたり、触ったりする。 ★ 冬ならではの自然事象を子どもと一緒に感じ、話題にしたい。 ★ 子どもと一緒に水を掛けながら、子どもたちが植物の成長や木々の変化に気付けるような言葉掛けをする。 ★ 動物に興味をもって触れ合う姿を大切にしたい。 【環境構成】 ア 積み木 イ ままごとの道具 (スカート、エプロン、ぬいぐるみなど) ウ 金魚 エ セロハンテープ、ペン、ラジカセ、カセットテープ、ブロック オ カラービニール、ガムテープ、ストロー、新聞紙、花紙、平テープ、モールなど カ 空き箱、牛乳パック、ペットボトル、カップ、紙コップなど キ チューリップ ク 長縄 (プレイルーム) 絵本コーナー 積み木 ごっこ遊びをする 積み木で遊ぶ ピアノ (保育室) ロッカー 積み木 毛糸で遊ぶ ごっこ遊びをする 積み木で遊ぶ チューリップに水を掛けたり成長を見たりする 砂場 ボール遊びをする 鬼ごっこをする 野菜の様子を見る 自然と触れ合う 固定遊具 固定遊具で遊ぶ 池 【つくって遊ぶ】 ☆ 大きさや形などにこだわりながら様々な素材を組み合わせて、自分のつくりたいものをつくる。 ☆ 毛糸を使ってポンポンなどをつくる。 ☆ 切り紙をしたり、折り紙の本を見ながら折り紙を折ったりする。 ★ 子どもがイメージに近いものをつくることができるように、様々な材料や用具などを子どもたちが使いやすい場所に用意しておく。 ★ 友だちと一緒につくろうとしたり、友だちのいいところを真似てつくろうとする姿を認め、出来上がった喜びに共感する。 ★ 毛糸を使った遊びでは、様々な色を準備して、保育者も子どもと一緒に楽しむようにする。 ★ 折り紙遊びで分かるところを子どもたち同士で教え合う姿を認める言葉掛けをし、友だちと一緒に遊ぶ楽しさや、友だちに教えることが自分への自信になるようにしたい。 【体を動かして遊ぶ】 ☆ 長縄跳びや短縄跳びで遊ぶ。 ☆ 鬼ごっこやかくれんぼをして遊ぶ。 ☆ ボールを投げたり、捕ったりして遊ぶ。 ☆ いろいろな固定遊具を使って遊ぶ。 ★ 縄跳びでは、自分ができるようになったことを見せたいという子どもの気持ちを受け止めながら、一緒になって楽しむようにする。 ★ 鬼ごっこやかくれんぼでは、友だち同士で誘い合って遊ぶ姿を認め、保育者も一緒になって体を動かして遊びたい。 ★ 年長児と一緒にドッジボールをする姿を見守り、ルールを教えてもらうなど異年齢児とのかかわりを大切にしたい。 ★ 固定遊具で、いろいろな技にチャレンジする姿を認める言葉掛けをする。また、タイムマシンや基地などに見立てて遊んでいる姿を認め、さらに遊びが充実する言葉掛けを行う。
10 : 10	☆ 片付ける。	
10 : 30	☆ 降園時の活動をする。 - 指遊びをする。(たいやきくんとたこやきくんなど) - 歌を歌う。(雪のペンキやさんなど) - 絵本を見る。 - 先生や友だちと一日を振り返る。 - 次週のことについて知る。	【片付ける】 ★ 進んで片付けようとする姿を十分に認めながら、みんなで片付けに取り組みたい。 ★ 保育者も一緒になって片付けに取り組み、きれいになった気持ちよさを味わうことができるよう言葉掛けをする。 ★ 自分が遊んでいないところも進んで手伝うことができるように言葉掛けをする。 【降園時の活動をする 降園する】 ★ 保育者も一緒になって手洗い・うがいをし、その大切さに気付けるようにしたい。 ★ 指遊びをしたり、歌を歌ったりして、みんなで楽しく過ごせるようにする。 ★ 季節に合った歌を歌ったり、絵本を読んだりして季節感を感じられるようにしたい。 ★ 子どもから楽しかったことを聞きながら、一日を振り返るようにしたい。 ★ 次週の予定などを話題にし、次週も園生活に期待をもって登園できるようにする。
11 : 00	☆ 降園する。	

(4) 一日の流れ (雨天時)

時 間	☆ 予 想 さ れ る 幼 児 の 生 活	★ 保 育 者 の 援 助 と 留 意 点
9 : 0 5	☆ 登園する。 ☆ 登園時の活動をする。 ・ シールをはる。 ・ 連絡帳を出す。 ・ タオルを出す。 ・ ランドセルや帽子をロッカーにしまう。 ・ コートを掛ける。 ☆ 好きな遊びをする。 ・ 自然と触れ合う。 ・ つくって遊ぶ。 ・ ごっこ遊びをする。 ・ 大型積み木やブロックで遊ぶ。 など	【登園する 登園時の活動をする】 ★ 一人一人の子どもたちと笑顔であいさつを交わしたり、楽しく会話したり、スキンシップを図ったりしながら、咳や鼻水は出ていないか、顔色はどうかなど、今朝の子どもたちの健康状態を把握する。 ★ 友だちに進んであいさつをする姿を認め、友だちとあいさつを交わしたうれしい気持ちを大切に、楽しく一日が始まるようにしたい。 ★ 登園時の活動を自分でしようとする子どもたちを十分に認めながら、周りにいる子どもたちも自分でやってみようとする気持ちがもてるように言葉掛けをする。 【大型積み木やブロックで遊ぶ】 ☆ 友だちと協力しながら、家や基地、飛行機などをつくる。 ☆ 積み木やブロックでつくったものを使って、ごっこ遊びをする。 ★ 友だちと一緒にイメージを共有しながらつくっている姿を認め、必要に応じて保育者も仲間に入って遊ぶようにしたい。 ★ 積み木を積む高さなど、自分たちで安全面に気を付けることができるように言葉掛けをする。 ★ 積み木やブロックの取り扱いなどで言い合っているときには、両方の話をゆっくりと聞きながら、どうすれば楽しく遊べるかを一緒に考えていくようにする。 【ごっこ遊びをする】 ☆ 友だちと役割を話し合いながらお店屋さんごっこや家族ごっこなどをする。 ☆ 自分でつくったものを使ってヒーローになりきって遊ぶ。 ☆ 友だちと楽器を使ったり衣装を着たりしてコンサートごっこをする。 ★ 子どもたちがイメージに合わせてじっくりとごっこ遊びができるように、必要な材料や道具を用意しておく。 ★ 子どもたちが友だちとイメージを出し合いながら遊ぶ姿を認める言葉掛けをする。 ★ コンサートごっこでは、自分たちで場を整えたり、発表したりする姿を認める言葉掛けをする。 【つくって遊ぶ】 ☆ 大きさや形などにこだわりながら様々な素材を組み合わせて、自分のつくりたいものをつくる。 ☆ 毛糸を使ってポンポンをつくったりする。 ☆ 切り紙をしたり、折り紙の本を見ながら折り紙を折ったりする。 ★ 子どもがイメージに近いものをつくることができるように、様々な材料や用具などを子どもたちが使いやすい場所に用意しておく。 ★ 友だちと一緒につくろうとしたり、友だちのいいところを真似てつくろうとする姿を認め、出来上がった喜びに共感する。 ★ 毛糸を使った遊びでは、様々な色を準備して、保育者も子どもと一緒に楽しむようにする。 ★ 折り紙遊びで分かるところを子どもたち同士で教え合う姿を認める言葉掛けをし、友だちと一緒に遊ぶ楽しさや、友だちに教えることが自分への自信になるようにしたい。 【自然と触れ合う】 ☆ 吐く息の白さや手の冷たさを感じ、友だちや先生に伝える。 ☆ 自分たちが育てているチューリップやカブの様子を見る。 ☆ カップや袋などに雨水を集め、水が溜まる様子を見る。 ☆ 傘を差して園庭の散歩をしながら雨音を聞いたり、空を見上げて雲の色や形を見たり、雨の日の植物を見たりする。 ★ この時期ならではの自然事象に触れた、子どもの感じたことやつぶやいたことに共感するようにしたい。 ★ 植物の成長と一緒に喜び、これからの成長を楽しみながら世話をしたい。 ★ 雨水集めでは、雨の音を楽しんだり、集め方の工夫を認めたりしながら保育者も一緒に楽しみ、雨の日ならではの過ごし方を伝えていきたい。 【環境構成】 ア 積み木 イ ままごとの道具 (スカート、エプロン、ぬいぐるみなど) ウ 金魚 エ セロハンテープ、ペン、ラジカセ、カセットテープ、ブロック オ カラービニール、ガムテープ、ストロー、新聞紙、花紙、平テープ、モールなど カ 空き箱、牛乳パック、ペットボトル、カップ、紙コップなど キ チューリップ
10 : 10	☆ 片付ける。	【片付ける】 ★ 進んで片付けようとする姿を十分に認めながら、みんなで片付けに取り組みたい。 ★ 保育者も一緒になって片付けに取り組み、きれいになった気持ちよさを味わうことができるよう言葉掛けをする。 ★ 自分が遊んでいないところも進んで手伝えることができるように言葉掛けをする。
10 : 30	☆ 降園時の活動をする。 ・ 指遊びをする。 (たいやきくんとたこやきくんなど) ・ 歌を歌う。 (雪のペンキやさんなど) ・ 絵本を見る。 ・ 先生や友だちと一日を振り返る。 ・ 次週のすることについて知る。	【降園時の活動をする 降園する】 ★ 保育者も一緒になって手洗い・うがいをし、その大切さに気付けるようにしたい。 ★ 指遊びをしたり、歌を歌ったりして、みんなで楽しく過ごせるようにする。 ★ 季節に合った歌を歌ったり、絵本を読んだりして季節感を感じられるようにしたい。 ★ 子どもから楽しかったことを聞きながら、一日を振り返るようにしたい。 ★ 次週の予定などを話題にし、次週も園生活に期待をもって登園できるようにする。
11 : 00	☆ 降園する。	